

広報ほんべつ

本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ

HONBETSU

Oct 2013.10
No.1020

表紙 初登庁し女性職員から花束を受け取る高橋正夫町長



第23代本別町長 5期目就任のあいさつ

**協働で安心と活力と
夢あふれるまちづくり**

5期目就任のあいさつ

第23代本別町長 高橋正夫



協働で

安心と活力と夢あふれる

まちづくり

このたびの町長選挙におきまして、多くの町民の皆さま方の温かいご支援とご支持をいただき当選の栄誉を賜り、引き続き本町の舵取り役を担わせていただくことになりました。

地方自治体を取り巻く環境が大きく変貌している今日、これから4年間の町政を担うことに、改めてその責任の重大さを痛感し、町民の皆さまの期待にお応えしなければと、強い使命感で身の引き締まる思いであります。

私は就任以来、一貫して町民と歩んできた協働のまちづくりを基本理念に、第5次・第6次総合計画の策定、開町100年・110年の大きな節目を迎えるなか、災害など幾多の試練にも直面しましたが、町民の皆さまの「町を守ろう」との熱い思いと、その行動力によって乗り越えることができました。

この町民力、地域力が本別町のまちづくりの原点であり、地域がそれぞれの個性を発揮し、いきいきと安心して暮らすことができ、町民が「住んでいて本当によかった」と実感できるまちを、今後とも、全力で築いてまいる所存であります。

本町の歴史を顧みたと、激動する社会に翻弄されながらも、厳しい自然と闘い、先人の英知と努力で今日の発展の基礎が築かれたことをしっかりと胸に刻み、自らの責任において自主性を高め、適切な行財政の推進に全力を傾注してまいります。

5期目のまちづくりのビジョンについて申し上げます。

私は、まちづくりの重点目標を「協働で安心と活力と夢あふれるまちづくり」といたしました。町民力、地域力、企業力、職員力を結集し成熟した協働型社会の構築を図り、まちには「心」と「活力」と「笑顔」、そして、子どもに「夢」と「希望」がいつばいのほんべつの創造を目指します。

サブタイトルには、「くらしに安全・安心を」「まちに活力と雇用を」「子どもに夢と未来を」の3点を掲げました。

一つ目は、町民と築いた「福祉でまちづくり」の精神を生かし、福祉、介護、医療、健康、防災、住宅など、住民の生活基盤の充実拡大を図り町民生活の安定に寄与すること。二つ目は、本町の資源を生かした産業の振興と企業立地の促進で雇用創出と活力に満ちた町を目指すこと。三つ目は、「ほんべつ」学びの日宣言の精神を生かし、4つの風事業の推進と教育環境の向上を図り、子どもに未来と夢いつばいのまちづくりを目指すものであります。

私は、この度の選挙戦を通じて、多くの町民の皆さまから寄せられたご意見と本町を取り巻く課題に果敢に取り組み、6つの政策の柱と48の施策・事業を、お示しさせていただきました。

一つ目の柱「学びを活かした協働のまちづくり」
二つ目の柱「いつまでも自分らしく、安全・安心なまちづくり」
三つ目の柱「地場産業振興と企業支援で新たな雇用の創出」
四つ目の柱「生活環境の向上と自然にやさしいまちづくり」
五つ目の柱「夢と未来を育むまちづくり」
六つ目の柱「地方分権時代、新しい公共で自主自立のまちづくり」であります。

また、施策、事業の推進に当たっては、総合計画、町財政との調和を図り、議会のご審議をいただきながら、今後4年間のまちづくりの指標として全力で実現を図ってまいります。

これからの町政運営に当たっての基本的な考え方について申し上げますが、町を思う町民の皆さまの熱意と私の思いを「1」にして、決意を新たに施策、事業の実施に全力を尽くしてまいりますので、これまで同様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。5期目就任に当たってのごあいさつといたします。



当選証書付与式（8/26）

町選挙管理委員会の中川祐一委員長から、
当選証書を受け取る高橋正夫町長

平成25年度

本別町開町記念式典

Anniversary112



本別町開町記念の9月15日、開拓功労者謝恩祭が山手町頌徳碑前で、平成25年度開町記念式典が中央公民館で執り行われました。

式典には関係者約70人が出席し、町民憲章の朗唱、黙とうに続いて、高橋正夫町長が「地場産業の育成や企業立地による新たな雇用が実を結ぼうとしています。一方で、農業を取り巻く情勢は、TPP交渉参加により一段と厳しい状況であることから、オール北海道、オール十勝が連携し、地域社会を守るため引き続き強力な運動を展開する所存であります。また、東日本大震災から2年半がたちました。被災地の皆さまが一日も早く平穏な日々を取り戻し、真の復興・再生が実現されるよう、しっかりと行動してまいります。我々は、このようなときだからこそ人の優しさ、温かさに触れ、その大きさを今一度確認しながら、先人より受け継いだ不屈の開拓者精神を遺憾なく発揮し、ふるさと本別はもとより我が国が直面する課題に立ち向かいながら確実に克服し、歩み続ける所存であります。町政の各般にわたり従来にもまさるご指導ご支援をお願いします」と式辞を述べました。

引き続き行われた功労者表彰式では、長年にわたり町発展のために尽力された8人を表彰。方川一郎町議会議長が祝辞を贈り、受賞者を代表して星崎敏雄さんが「この感激を肝に銘じ、より一層本別町発展のために努力してまいります」と謝辞を述べました。



①式典の様子
②功労者表彰式
③受賞者を代表して謝辞を述べる星崎敏雄さん
④式辞を述べる高橋正夫町長
⑤功労者の事績を読み上げる砂原勝副町長
⑥祝辞を贈る方川一郎町議会議長



開拓功労者謝恩祭

9月15日午前9時30分から山手町頌徳碑前で「開拓功労者謝恩祭」が開かれました。開拓功労者八翁をたたえ、ご冥福を祈念し、約60人の出席者全員が献花を捧げました。

開拓功労者八翁
東 儀三郎翁
鈴 勝太郎翁
新 繁松翁
幕 小太郎翁
岡 公一翁
井 英作翁
荒 深四郎翁
前 田 金四郎翁

受賞者の皆さん (50音順)



下道正市さん
仙美里531番地3

平成10年に美栄自治会長に就任、以来16年の長きにわたり、地域住民の実情をよく把握され、自治会活動の円滑な運営を図り、自治会活動の充実発展に努め、地域福祉の向上に寄与される。

特に、美栄自治会では、毎年、地域を縦断する町道通行の安全確保を目的に、支障木を伐採するなど環境整備に取り組んでいる。

この間、平成14年から平成17年、2期4年にわたり本別町自治会連合会理事を歴任されるなど、単位自治会および関係機関との連絡協力を図りながら、住みよい地域づくりに貢献。これらの功績により北海道町内会連合会表彰などを受賞されている。

これらの活動を通じ本町行政の推進に寄与された功績は誠に顕著である。



佐々木修治さん
西仙美里24番地23

平和自治会長、仙美里ヶ丘自治会長として通算20年以上の長きにわたり、地域住民の実情をよく把握され、自治会活動の円滑な運営を図り、自治会活動の充実発展に努め、地域福祉の向上に寄与される。

この間、平成16年から現在まで、本別町自治会連合会理事を歴任されるなど、単位自治会および関係機関との連絡協力を図りながら、住みよい地域づくりに貢献され、これらの功績により北海道町内会連合会表彰などを受賞されている。

また、本別町社会福祉協議会評議員、本別町共同募金委員会理事などを歴任され、福祉向上に幅広く活躍いただいている。

これらの活動を通じ本町行政の推進に寄与された功績は誠に顕著である。



加藤和子さん
南4丁目59番地21

平成4年から現在まで20年以上の長きにわたり、民生委員児童委員として卓越した見識と旺盛な実践力により、保護家庭の指導援護活動および地域福祉の増進に意を注がれる。

平成22年に、地域の実情に精通した適切な指導と誠意をもった援護活動を通して健全な地域社会づくりに貢献され、全国民生委員児童委員連合会長表彰などを受賞している。

また、更生保護女性会にも入会し、女性の立場から地域の犯罪予防と非行や犯罪に陥った人の更生支援活動に尽力している。

これらの地域福祉向上と児童福祉等の活動を通じ本町行政の推進に寄与された功績は誠に顕著である。



岩部義之さん
美里別70番地9

昭和63年本別消防団第3分団入団以来、地域防災防衛の責任と郷土愛護の精神に燃え、現在まで25年の長きにわたり、常に冷静沈着な決断にして自ら率先範を示し、精励恪勤地域の火災および治安の維持に貢献されている。

平成17年からは、班長として分団の連絡調整ならびに団員相互の融和に努められ、消防団の円滑な運営に昼夜を惜まず努力し、団の組織強化発展に尽くされた功績により、北海道知事表彰、北海道消防協会長表彰などを受賞された。

これらの火災防衛活動に献身的に尽くされた功績は、広く尊敬に値するものであり、この活動を通じ本町行政の推進に寄与された功績は誠に顕著である。



星崎敏雄さん
仙美里437番地2

平成5年に本別町森林組合監事に就任され、以来、監事1期3年、理事6期18年の長きにわたり森林組合の要職を務められ、この間、平成8年から平成22年の5期15年間、代表理事組合長として森林組合の運営にあたり、森林所有者の経済的社会的地位の向上と森林の保全と生産力の増進を図るとともに、持続可能な森林・林業の整備促進に努め本町林産業の振興に大きな貢献をされている。

さらに、平成5年から2期6年、本別町農業委員会委員に就任し、地域農業の振興に貢献されている。また、本別町林産振興会長として、研修会や講習会を開催し施業技術の向上に努められている。

これらの活動を通じ本町の産業振興に寄与された功績は誠に顕著である。



武田厚子さん
錦町5番地1

平成4年から現在まで20年以上の長きにわたり、民生委員児童委員として卓越した見識と旺盛な実践力により、保護家庭の指導援護活動および地域福祉の増進に意を注がれる。

平成22年に、地域の実情に精通した適切な指導に努められ、誠意をもった援護活動を通して健全な地域社会づくりに貢献され、全国民生委員児童委員連合会長表彰などを受賞している。

また、本別町社会福祉協議会理事、更生保護女性会理事として、地域社会の民生安定と福祉向上に努められている。

これらの地域福祉向上と児童福祉等の活動を通じ本町行政の推進に寄与された功績は誠に顕著である。



斉藤元一さん
西美里別36番地4

平成5年に本別町森林組合監事に就任され、以来、監事2期6年、理事5期15年の長きにわたり森林組合の要職を務められ、この間、平成17年からは副組合長理事として森林組合の運営にあたり、森林所有者の経済的社会的地位の向上と森林の保全と生産力の増進を図るとともに、持続可能な森林・林業の整備促進に努め本町林産業の振興に大きな貢献をされている。

さらに、本別町林業グループ副会長として、施業技術の習得や森林に関する学習活動を継続され、研さんを重ねられている。

これらの活動を通じ本町の産業振興に寄与された功績は誠に顕著である。



柄澤弘さん
朝日町22番地2

平成4年から現在まで20年以上の長きにわたり、民生委員児童委員として卓越した見識と旺盛な実践力により、保護家庭の指導援護活動および地域福祉の増進に意を注がれる。

平成22年に、地域の実情に精通した適切な指導と誠意をもった援護活動を通して健全な地域社会づくりに貢献され、全国民生委員児童委員連合会長表彰、北海道社会福祉協議会長表彰などを受賞している。

また、朝日町自治会副会長、本別町社会福祉協議会評議員として地域社会の民生安定と福祉向上に努められている。

これらの地域福祉向上および児童福祉等の活動を通じ本町行政の推進に寄与された功績は誠に顕著である。



東十勝花火大会

花火点火セレモニー

楽しさ満点ふわふわランド

ストラックアウトに夢中の子供たち



お祭り大好きな「お祭り大好きなお祭り」

かわいいゆるきゃら大集合

熱気球体験試乗



絶賛！三人羽織早喰い大会

HIPHOPダンス

ハイボーン十勝KIDS
TOKYO撮影会



友好都市徳島県小松島市物産市

白糠町物産販売

リッキー号も活躍



こころに響くハーモニーを歌い上げた
女性ユニット やなわらばー

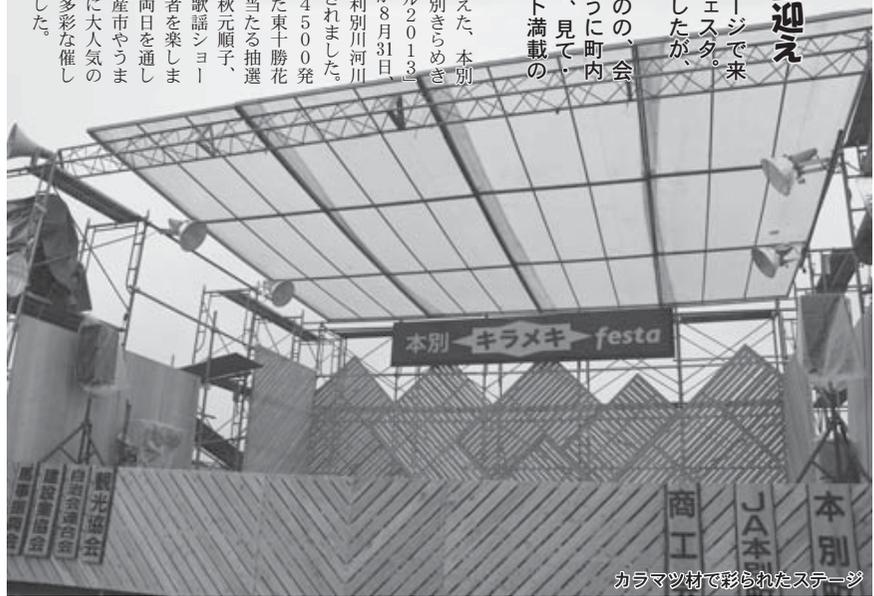
楽しいトークを交えながら
演歌を熱唱する 秋元順子

本別きらめきタウン フェスティバル2013

**カラマツ材の
明るいステージでお出迎え**

カラマツ材で彩られた明るいステージで来場者を迎えた、今年のきらめきフェスタ。残念ながら初日は雨に見舞われましたが、2日目は天候が回復。昨年よりも来場者は若干減ったものの、会場には悪天候を吹き飛ばすかのように町内外から約2万9000人が詰め掛け、見て・食べて・飲んで・遊んで、イベント満載の2日間を楽しみました。

今年で17回目を迎えた、本別最大のイベント「本別きらめきタウンフェスティバル2013」(実行委員会主催)が8月31日、9月1日の2日間、利別川河川敷地特設会場で開催されました。初日に秋の夜空に4500発の大輪の花を咲かせた東十勝花火大会や豪華景品が当たる抽選会、2日目には歌手秋元順子、やなわらばー出演の歌謡ショーや戦隊ショーが来場者を楽しませました。この他、両日を通して初出店の白糠町物産市やうまいもの市、子供たちに大人気のふわふわランドなど多彩な催しが会場を盛り上げました。



カラマツ材で彩られたステージ



医師による特別授業

成人式

オーストラ

リアミッチェル訪問団

学びの目の集い

本別空襲を語り継ぐ

教育行政の進むべき方向性

町教育委員会では、平成24年度本別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書」を作成しました。

これは、効果的な教育行政を推進するとともに、町民の皆さま

んへの説明責任を果たすため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定により、教育行政事務の管理執行状況について、学識経験者の意見等を踏まえた点検・評価を行い、今後の教育行政の進むべき方向性についてまとめました。

この報告書は、町議会に提出するとともに、町広報紙および町公式ホームページで公表します。

本別町教育委員会委員 (平成25年3月31日現在)

職名	氏名
委員長	水谷 令子
委員長職務代理者	布施 耕一
委員	山下 博志
委員	鈴木 清志
委員(教育長)	中野 博文

平成24年度教育委員会点検・評価報告書(抜粋)

平成24年度教育委員会の活動状況

▼教育委員会会議の開催状況
 (1) 毎月1回の定例会議および臨時会議
 合計15回(50議案議決)
 ※うち3回、移動教育委員会会議を町内3小中学校で開催

▼法規・規則等の制定および改正状況
 (1) 教育委員会関係 条例の改正1件
 規則の改正1件
 要綱の改正1件
 要領の改正1件

▼教育委員会委員の活動状況
 (1) 教育委員会関係事業 計35日・延べ51人
 (2) 各学校関係各種事業 計14日・延べ46人

▼各審議会等開催状況
 (1) 社会教育委員会 2回
 (2) スポーツ推進委員会 (旧体育指導委員会) 4回
 (3) 文化財審査委員会 2回
 (4) 文化賞審議会 1回
 (5) スポーツ賞審議会 1回

▼教育費予算の状況
 平成24年度の一般会計教育費の最終予算額は、6億8025万4000円となり、一般会計予算総額に占める割合は9.2%になりました。

自己点検評価

教育委員の主な活動では、通常の教育委員会会議の他、各学校を訪問しての移動教育委員会会議や各種学校行事等への積極的な参加、また、年度当初には各校長から学校経営方針の説明を受け意見交換を行うなど、教育委員会の運営と学校教育の充実を図ってきました。また、本別町が進める「生涯学習によるまちづくり」を基本に「ほんべつ学びの日」の趣旨・理念の普及啓発活動に取り組み、町民の学習ニーズに応えながら芸術・文化・スポーツの振興を図り、教育委員会事務局との連携を密に適正な教育行政の執行に努めました。

今後の方向性

今後も町民の皆さんに信頼される教育委員会を目指し、「第6次本別町総合計画」を基本に教育環境の整備充実を図り、児童生徒の学力向上と健全育成はもとより、第7次社会教育中期計画(平成24～28年度)に基づき、「ほんべつ学びの日」事業の充実を努めます。また、「家庭・学校・地域」との連携を強化し、適切な教育行政の執行と町民への説明責任を果たし、効果的な教育行政を推進します。

「平成24年度本別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書」の全文については、本別町公式ホームページでご覧いただけます。
<http://www.town.honbetsu.ho>
http://www.kkaido.jp/public/cat3/post_48

問い合わせ
教育委員会管理課総務担当
 ☎022-2333-1

国民年金 「ねんきんネット」

役場窓口でも「ねんきんネット」が利用できます!

インターネット回線を使用してご自分の年金記録を照会できる「ねんきんネット」が、役場窓口でも利用できます。照会した年金記録は印刷しお渡しいすることも可能です。ぜひご利用ください。なお、インターネット回線使用料および、印刷料は無料です。

必要書類等

基礎年金番号の確認できるもの(年金手帳等)、本人確認資料(運転免許証・健康保険被保険者証等)、印鑑をお持ちになり役場住民課戸籍年金担当窓口へお越しください。

ねんきんネットのメリット

①記録の「もれ」や「誤り」の発見が容易になります

年金の加入・未加入、納付状況などが分かりやすく表示されます。また、厚生年金加入の人は、その月の標準報酬月額なども確認できます。

②将来の年金額が試算できます

「年金を受け取りながら働き続けた場合の年金額」など、ご自身の将来設計に合わせた働き方の条件に基づく年金額を試算できます。



未納だった年金保険料を、過去10年分までさかのぼって納められる制度が平成24年10月から(平成27年9月までの3年間に限る)始まっています。ねんきんネットを活用し、納め忘れの期間がないか確認しましょう。

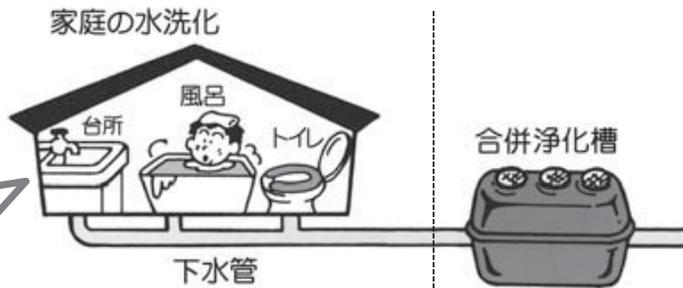
ねんきんネットホームページ
http://www.nenkin.go.jp/n/www/n_net/

詳しくは
住民課戸籍年金担当
 ☎022-8128

本別町全域(本別市街地の公共下水道区域を除く)で合併浄化槽が設置される地域は、平成25年10月末日までにお申し込みください



個別排水処理施設の仕組みと



排水設備 (個人設置・個人管理)

家庭の水洗化の費用は個人負担です

◎排水設備工事費
…約60万円～80万円

(トイレの改造、給水、屋外排水管などの工事で、家の間取り、便器の種類などにより異なります)

排水設備工事の融資制度
(住宅1戸につき便器2基まで)

区分	金額	適用
融資制度	60万円以内 (便器1基につき)	月1万円の均等償還 (無利子)

新築の場合は該当となりません



受益者が負担する金額



個別排水処理施設 (町設置・町管理)

◎設置時
受益者分担金

- ※10人槽までは100,000円
- ※11人槽以上は、1人槽増すごとに15,000円を100,000円に加算した額となります
(翌年度から年4期、5年分割の20回払い)

◎設置後

●使用料(毎月)

5人槽	…3,095円
7人槽	…3,872円
10人槽	…5,020円
11人槽以上	…10人槽の料金に1人槽増すごとに420円を加算した額

浄化槽の
汲み取り・点検は
町で行います

●電気料(毎月)……約800円～1,800円
(5人槽～10人槽の場合)

浄化槽内のばつ気のためのもので浄化槽の規模により異なります

平成26年度に設置を希望する人は、平成25年10月末日までにお申し込みください

平成11年度から農村部に合併浄化槽を設置する事業を実施してきましたが、平成17年度から農村部に加え、勇足元町・仙美里元町・上本別地区も設置できるようになり実施しております。トイレの水洗化によって、より快適な生活環境を目指すほか、家庭から出る生活排水を浄化して公共用水域の水質の汚れやにこりを防止するのが目的で、合併浄化槽は個人下水道とも呼べる恒久的な施設です。合併浄化槽が設置できる地域は、本別市街地の公共下水道区域を除く本別町全域で、これによりすべての町民(公共下水道区域の未整備区域を除く)がトイレの水洗化および生活排水の処理が可能になります。



お申し込み
お問い合わせは
建設水道課
水道・下水道担当
☎22-8122

◆職員に対する手当の状況

① 期末手当・勤勉手当

	本別町		国	
	期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
1人当たり平均支給額(平成24年度)	1,433千円		-	
平成24年度支給割合	2.60月分 (1.45)月分	1.35月分 (0.65)月分	2.60月分 (1.45)月分	1.35月分 (0.65)月分
加算措置の状況	職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5%~15%		職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・管理職加算10~25%	

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

② 退職手当 (平成25年4月1日現在)

	本別町		国	
	自己都合	勤奨・定年	自己都合	勤奨・定年
勤続20年	23.03月分	28.7875月分	23.03月分	28.7875月分
勤続25年	32.83月分	38.955月分	32.83月分	38.955月分
勤続35年	46.55月分	55.86月分	46.55月分	55.86月分
最高限度額	55.86月分	55.86月分	55.86月分	55.86月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例措置 (2%~20%)		定年前早期退職特例措置 (2%~20%)	
1人当たり平均支給額	12,724千円			

(注) 退職手当1人当たりの平均支給額は、前年度に退職した全職種の職員に支給された平均額である。

③ その他の手当 (普通会計) (平成25年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績(平成24年度決算)	支給職員1人当たり平均支給年額(平成24年度決算)
扶養手当	配偶者 13,000円 扶養親族たる子および父母等1人につき 6,500円 職員に配偶者がいない場合1人 11,000円 扶養親族たる子15歳から22歳まで 5,000円加算	同じ		14,681千円	195,746円
住居手当	〔借家〕月額16,000円以下の家賃⇒家賃の月額-5,500円 月額16,000円を超える家賃⇒(家賃の月額-16,000円)の2分の1(2分の1限度額9,500円)に10,500円を加算 〔持家〕月額15,000円以内(新築10年間2,000円加算) 新築20年経過以降 月額10,000円以内	異なる	〔借家〕借家限度額 27,000円 〔持家〕なし	19,196千円	177,740円
通勤手当	〔交通機関利用〕月額限度額 50,000円 〔交通用具利用〕片道5km未満 2,000円 5km以上~10km未満 4,100円 10km以上~15km未満 6,500円 15km以上~20km未満 8,900円 20km以上 11,300円	異なる	〔交通機関利用〕55,000円 〔交通用具利用〕20km以上60kmまで5km刻みで支給額を設定	1,470千円	44,545円
管理職手当	12% 院長、副院長、医長 9% 主幹 10% 課長、室長、事務局長 8% 課長補佐、次長	異なる	課長 職定額 課長補佐 職定額	12,052千円	415,586円
夜勤手当	25%増し	同じ		119千円	59,500円
宿日直手当	1回 4,200円	同じ		1,106千円	138,250円
寒冷地手当	〔世帯主〕扶養親族のある職員 131,900円 扶養親族のない職員 72,900円 〔その他の職員〕51,700円	同じ		13,516千円	100,118円

◆特別職等の報酬等の状況 (平成25年4月1日現在)

区分	給料または報酬の月額		期末手当の支給割合	
	町長	副町長	6月 1.90月分	12月 2.05月分 合計3.95月分
給料	747,000円	616,000円	加算措置：当分の間支給停止	
	562,000円	292,000円		
報酬	230,000円	230,000円	6月 1.90月分	
	185,000円	185,000円	12月 2.05月分 合計3.95月分	
	185,000円	185,000円	加算措置：当分の間支給停止	

問い合わせ 総務課庶務担当 ☎22-8120

公平性・透明性を目指して

町のホームページ <http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/> でもご覧いただけます

本別町職員の人事行政の運営等の状況を公表します

公務員制度の公平性、透明性の確保などを目的に給与等の状況のほか人事行政の運営等、各市町村の制度がどのようになっているかを公表することが地方公務員法で義務付けられています。町民の皆さんに町職員の給与などの概要をお知らせいたします。

◆一般行政職の平均給料月額、平均年齢の状況 (平成25年4月1日現在)

区分	平均給料月額	平均年齢
大学卒	316,200円	41.9歳
短大卒	338,300円	45.1歳
高校卒	339,900円	45.3歳
中学卒	335,800円	44.3歳
全平均	332,100円	44.2歳

◆一般行政職の職級別職員数 (平成25年4月1日現在)

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比	前年度(平成24年4月1日現在)	
				職員数	構成比
1級	主事、技師、主事補	9人	8.2%	8人	7.3%
2級	主事、技師	6人	5.4%	4人	3.7%
3級	主査、副主査、主任	33人	30.0%	39人	35.8%
4級	主査、副主査	31人	28.2%	29人	26.6%
5級	課長、室長、課長補佐	20人	18.2%	17人	15.6%
6級	課長、室長	11人	10.0%	12人	11.0%
合 計		110人	100.0%	109人	100.0%

(注) 「平均給料月額」とは、平成25年4月1日現在における一般行政職の基本給の平均である。

(注) ・本別町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。
・標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。
・平成19年度から6級制に移行。

◆職員の初任給の状況 (平成25年4月1日現在)

区分	本別町		国		
	初任給	2年後の給料	初任給	2年後の給料	
一般行政職	大学卒	172,200円	184,200円	172,200円	184,200円
	高校卒	140,100円	148,500円	140,100円	148,500円

◆職員の給与の状況 人件費の状況 (普通会計決算)

区分	住民基本台帳人口(平成24年度末)	歳出額A	実質収支	人件費B	人件費率B/A	(参考) 平成23年度の人件費率
24年度	7,960人	6,923,956千円	87,752千円	1,341,821千円	19.4%	19.4%

災害に備えて

地域防災研修会



D I Gに取り組む参加者

地域防災力向上を目的とした「地域防災研修会」が9月6日、中央公民館で開催されました。研修会には、自治会、JA本別町、消防、警察のほか、白糠町の防災担当者など約70人が参加し、災害への気付きと理解を深めました。



講演する大内英二氏

防災対策で 災害に備える

研修会では、池北防災まちづくり研究事務所代表の大内英二氏が、「災害への備えについて」をテーマに、日ごろからの防災対策の必要性について講演。

続いて参加者らは、簡単なゲームで参加者同士のコミュニケーションを図った後、帯広NPO28サポートセンターの千葉養子氏などを講師に、図上訓練「D I G」に挑戦しました。8つのグループに分かれた参加者らは、震度6強の地震が起きたことを想定し、地図上に自らの行動や自宅、避難施設などをチェックする作業に真剣に取り組み、訓練後は、各班でまとめられた意見を発表し、全体での確認をしました。



コミュニケーショントレーニング

焼肉だよ!! 全員集合!!

ほんべつ肉まつり2013



焼肉を楽しむ家族連れ

みんなで一緒にお肉を食べて、体も地域も元気になるよプロジェクトほんべつ肉まつり2013（実行委員会主催＝小笠原徹委員長）が8月25日、本別公園ステージ前で開催され、町内外から訪れた約1000人の来場者でにぎわいました。

「本別産」をPR

この企画は、本別で生産されている肉を知ってもらうことと、消費者への恩返しを目的に、町内の若手農業者15人が手作りで開いたもので、用意された肉は「本別産」を中心とした9種類の牛・豚・羊の肉、約700kg。

来場者は、会場内に用意された焼台を使って焼いた焼肉に舌鼓を打ったほか、クイズ大会やライブ、紙芝居などのステージイベントで盛り上がりました。

この他、ハンバーグやソーセージなどの肉加工品やジャガイモやタマネギなどの地元農産物、おにぎりや生ビールなどを販売するブースも大盛況でした。



にぎわう会場内



さく乳体験コーナー

各学校の手作りページ

HELLO 勇足小学校

可愛らしい7人の1年生を迎え、全校児童43人で勇足小学校の平成25年度がスタートしました。

今年の合言葉は『笑顔が溢れる元気な学校！』

一人一人が輝き、笑顔溢れる子どもたちを育てるために、職員一同さまざまな教育活動に取り組んでいます。

入学式



確かな学力

校内授業研・学習参観日・佐治晴夫氏出前授業 ほか



エトセトラマーケット

豊かな心

児童総会 ほか



笑顔

今年度の重点



勇足大運動会・交通安全キャンペーン・食育学習 ほか

健やかな体



勇足小学校
ホームページのご案内

児童の活動する様子をホームページでも紹介しています。どうぞご覧ください。
＜勇足小学校だより <http://blog.goo.ne.jp/yutari-els>＞

ほんべつ学びの日夢風事業 障がい者週間記念事業

本のまち夢びんり講演会

ほんべつ学びの日夢風事業・障がい者週間記念事業
「本のまち夢びんり講演会」が9月12日、中央公民館で開催され、約200人の来場者が車椅子のエッセイスト大石邦子さんの講演に聞き入りました。



心は刻も、
生かすこころは人間の尊厳、
愛する人間の素晴らしさ

「生きる」と愛すること」と題した講演で大石さんは、これまでの人生を振り返りながら、バス事故に遭って病院で過ごした12年6か月の闘病生活や、両親、看護師、友人との思い出そして自らが葛藤してきた姿を来場者が頭の中に思い浮かぶように語りました。中でも、母親との記憶については、大石さんが半身麻痺になったストレスをぶつけてしまったこと、それを受け入れてくれた愛情などを思い出深く、また、感謝の気持ちを込めて話しました。さらに、がんを宣告され手術・抗がん剤治療の苦しみを乗り越えた経験から、「親の愛も健康も普通の生活もどれも素晴らしいもの。失ってから気付くのは遅い」「一人では生きられない」と何度も訴えました。

会場内では、大石さんの語りに涙を流しながら聞き入る人もいます。多くの方が生きていることの尊厳、家族や周りの人を愛することの素晴らしさを心に刻み込みました。

強くすてきな人に

9月13日には、町内3中学校170人を対象とした出前授業が本別中学校で行われました。大石さんは、「悲しいこと、苦しいことから逃げなければ、皆さんは強くすてきな人になれます。友達をつくって、いい青春を生きてください」と語り掛け、生徒らは真剣な表情で耳を傾けていました。



実力を出し切れるよう頑張る

8 22・26

十勝の予選を勝ち抜き、9月7日、8日に帯広市で開催される北海道卓球選手権大会に出場する、伊藤颯汰さん（本別中2年）が8月22日、岡本行生さん（仙美里中2年）が8月26日、教育委員会を訪れ中野博文教育長に全道大会出場を報告しました。2人は「自分の持っている実力をすべて出し切れるように頑張ります」などと抱負を語り、中野教育長は「悔いのない試合ができるよう頑張ってください」とエールを送りました。

全道大会では、それぞれベストを尽くし健闘しました。



伊藤颯汰さん



岡本行生さん

復興の手助けになって

8 26 9 10

本別高等学校生徒会（平侑大会長）が8月26日、教育委員会を訪れ、宮城県南三陸町への義援金として学校祭開催時に同校玄関前で集めた募金3,669円を中野博文教育長へ手渡しました。9月10日には本別町商工会青年部（岡崎慶太郎部長）が役場を訪れ、東日本大震災の義援金としてピア一彩の収益金77,950円を高橋正夫町長へ手渡しました。両義援金は復興の手助けとなるよう、町を経由して南三陸町および日本赤十字社へ届けられます。



平侑さん



岡崎慶太さん

前教育委員我妻勇次さんが、教育功労者表彰を受賞

8 27

全国市町村教育委員会連合会の教育功労者表彰を受賞した、前教育委員の我妻勇次さん（東本別の賞状伝達式が8月27日、町体育館で開かれ、水谷令子教育委員長から表彰状が手渡されました。これは、長年にわたり教育行政に尽力した功績が認められ贈られたものです。



親子で絵本を楽しもう

8 20

図書館ボランティアぶっくる（綾野治男会長）主催による読み聞かせ勉強会が8月20日、絵本作家の後路好章さんを講師に迎え、図書館で開催されました。後路さんは、子どもの目線に座りながら「いっしょ読み」や「わいわい読み」など8種類の読み聞かせ方法を紹介。参加した21人は親子で絵本を楽しむ読み聞かせのコツを学びました。



メロンとスイカをプレゼント

8 13

北海道立農業大学校（加藤和彦校長）の畑作園芸経営学科2年生3人が8月13日、つつじの園を訪れ、メロン4玉とスイカ1玉をプレゼントしました。メロンとスイカは、同校の吉村諄郎さんから、「例年、卒業式に手作りはぎセットを頂いているお礼の意味を込め、今年、私たちの作った作物をお持ちしました。良く冷やしてお召し上がりください」と手渡され、園生代表の千葉和さんは、「みんなでおおいしくいただきます。ありがとうございました」とお礼を述べました。



多彩なマジックに拍手

8 19

義経教室一般公開講座「マジックと防犯教室」が8月19日、元警察官の西垣良克さんを講師に迎え、中央公民館で開催されました。西垣さんは高齢者の事故や事件の事例を話し、訪問販売などの犯罪被害に遭わないよう注意を呼び掛けたほか、見事な手つきで数々のマジックを披露。参加した50人は、次々と繰り出される多彩な技に大きな拍手を送りました。



本別公園の利便性確保

8 20

北海道道路整備（佐々木和彦社長）の従業員8人が8月20日、本別公園敷地内の2つの駐車場で駐車枠のライン引きをボランティアで行い、公園利用者の利便性を確保しました。



31kmを快走

9 14

町地域子ども会育成連絡協議会（久能利幸会長）による、子どもサイクリングのつどいが9月14日に開催されました。参加した町内の小中学生と保護者15人は、中央公民館前で行われた開会式でラジオ体操を行った後、同館から美里別地区公民館までの往復約31kmを快走。昼食は美里別地区公民館で焼き肉をおいしくいただき、楽しい1日を過ごしました。



笑顔いっぱい “ばまキッズまつり”

9 13

家庭教育支援事業「なかよし」によるばまキッズまつりが9月13日、子育て支援センターで開催されました。職員手作りのキャラクター帽子やゼリーすくい、おかしくじなどのお店が並んだお部屋では、子供たちが興味津々にゲームに挑戦しかわいらしい笑顔を見せたほか、人形劇やパネルシアターなども行われ、38組87人の親子が楽しいひとときを過ごしました。



花をモデルに 写生会

9 10・12

仙美里小学校（寺島康博校長、31人）の5・6年生11人が9月10日に、2年生6人が同12日に、同校校庭で花の写生会を実施しました。この写生会は、人権の花運動の一環として行われたもので、児童らは、花をよく観察しながら色とりどりの作品を完成させました。モデルになった花は、今年6月11日に同運動で同校の花壇とプランターに植えられ、児童らが協力して育てているものです。



高齢者の 楽しい集いの日

9 9

町老人クラブ連合会（野中栄一会長）による高齢者の楽しい集いの日が9月9日、中央公民館で開かれました。集いには、町内老人クラブから35組が出演。日ごろ練習したカラオケや踊りなどを披露し、約200人の来場者を楽しませました。



白糠町最大の イベントでPR

9 14・15

町と町観光協会が9月14日、15日の2日間、白糠町最大のイベント「しらぬかカミングパラダイス」で、生豆や豆製品、新鮮野菜など、町の特産品をPRしました。これは、3月に両町の間で「包括交流連携協定」が結ばれてからスタートした交流事業のひとつとして、お互いのイベント時に行われているものです。この日はあいにくの雨模様となりましたが、自慢の特産品を積極的にPRし、白糠町民をはじめ多くの来場者が訪れ、本別町ブースは大変盛況となりました。



地域と楽しむ夏祭り

9 14

清流の里・あいの里交流センターによる地域交流夏祭りが9月14日、同施設駐車場で開催されました。参加した同施設の入所者、利用者とその家族や清流町自治会員などは、流しそうめんやおにぎり、かき氷などの食べ物、飲み物コーナーでおなかを満たしたほか、ヨーヨーつり、輪投げなどのゲームコーナーやフラダンスの余興も行われ、約150人の来場者が見て食べて遊んでにぎやかなひとときを過ごしました。



全道大会優勝！ 全国大会出場へ

9 10

9月8日に帯広市で開催された、第15回北海道ジュニア陸上競技選手権大会に出場し、女子ジャベリックスローで全道優勝した山田みゆきさん（勇足中3年）が9月10日、役場を訪れ高橋正夫町長に優勝報告をしました。山田さんは、「親や家族が喜んでくれて、指導してくれた先生にも恩返しができてうれしかった。全国大会では自分自身のスローイングを心掛け、40メートルを超える記録を目指したい」と、優勝の喜びと10月27日に神奈川県横浜市で開かれる全国大会出場に向けての意気込みを語りました。



万ーに備えて

9 11

本別消防署による普通救命講習会が9月11日、同講堂で開かれました。参加した28人は、講師の本別消防署職員から、DVDを使った応急手当の基礎知識の説明を受けた後、実際に人形を使って心肺蘇生からAED使用までの一連の流れを学び、万一の事態に備えるとともに、正しい知識と技術を身に付けました。



未来に輝く 子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。
お父さん、お母さんのたくさん愛に包まれてすくすく元気に育ってね!



南4丁目
井上

(知加子ママ)
嬢くん



緑町
渡辺

紗弥ちゃん
(利枝ママ)

職業体験で将来に希望を 9/18・19

仙美里中学校の職業体験学習が9月18、19日に各生徒の希望する場所で実施されました。保育士を目指し、中央保育所を訪れた成田友美さん(2年)は、1日目は0~1歳児、2日目は5~6歳児の2つのクラスで食事等を通して子供たちと交流しました。成田さんは、「いざやってみると大変だった。どんな子とも明るく話し合えるようになりたい」と語りました。0~1歳児11人で構成された、いちご組の先生は、成田さんについて「遠慮している部分もあるが、たくさん声を出し、積極的に頑張っていてほしい」とアドバイスしたほか、「手本となれるような姿勢を見せ、将来に希望が持てるようにしたい」と話しました。

※この記事は、職場体験で役場を訪れた岡本行生さんが取材し、書いたものです



ダンプリ、パフォーマンスに大勢の人 9/14

第34回夜でかけナイト(実行委員会主催)が9月14日、北1丁目から北4丁目商店街で開催されました。焼き鳥やかき氷、ビールなどを提供する屋台やゲームのお店が多数出店したほか、ステラマート前で行われた池田高等学校吹奏楽部によるダンシングプレイ、本別高等学校3年B組によるパフォーマンスには、大勢の来場者が詰め掛け、大きな盛り上がりを見せました。



ご寄付ありがとうございます 平成25年9月4日から9月9日

次の通りご寄付をいただきました。
紙上をかきつけて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

★本別町指定

災害・停電時用ろうそく240本(15号ろうそく)
…………… 栄町 さくら葬儀社 代表 櫻庭勝彦

個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付

金1,000,000円…………… 沼田町 津川裕美子<内訳>

- ★福祉でまちづくり推進事業 …… 金200,000円
- ★資料館特別展示「わが町の七月十五日展」開催事業 …… 金300,000円
- ★本のまち・夢プラン事業 …… 金500,000円

みんなの健康

350



日本人の半数以上で、下顎の内面に骨隆起がみられます。これは下顎隆起とよばれ、小臼歯部舌側に1個から数個の隆起が左右対称に見られることが多く、組織学的には緻密な骨質の増殖からなり、小さくならぬまま突起からパチンコ玉ぐらゐの境界がはつきりした球状の突起まで、大きな形状は様々で、その表面は正常な口腔粘膜でおおわれています。下顎隆起は幼少児期には明らかでなく、主に骨格の発育が進む12歳頃以降に出現し、年齢と共に発達します。出現頻度は20

下顎隆起

下顎隆起は痛みがなく発育が緩やかなため、なかり増大しても日常的に支障がない場合、気付かれずにそのまま放置されてしまいがち。しかしまれに食物や歯ブラシが入り歯などが強く当たって粘膜が傷ついたり、入れ歯の吸着、安全性をそこなう場合があり、この様な時は骨隆起の削除が必要となることもあります。

かとう歯科

院長 加藤英俊

足寄町

大収穫祭・秋の物産市

足寄町の農産物や特産品を生産者が自ら販売し、足寄町の味覚をPRします。

□とき 10月13日(日)
午前9時~午後2時

□ところ あしよる銀河ホール21イベント広場

□内容
・野菜や豆製品、手作りパン、陶芸、木彫り作品、漬物などの販売

陸別町

第52回陸別町文化祭

陸別町文化祭が開催されます。展示や芸能発表などの楽しい催しがありますので、ぜひお越しください。

□とき 10月31日(木)~
11月3日(日)

○展示部門(タウンホール・FLOOR・2Fホワイエ)
10月31日(木) 午後1時~午後6時

11月1日(金)~2日(土)
午前9時~午後6時

○行事部門
・陶芸ボランティアセール(役場庁舎1Fロビー)
11月2日(土) 午前9時~午後5時
・婦人会ボランティアバザール(保健センター)
11月2日(土) 午前11時~午後2時

○芸能発表(タウンホール)
11月3日(日) 午後3時~午後5時30分

□問い合わせ 陸別町教育委員会
☎2712123

・木工作品、制作体験コーナー
・フリーマーケット
・じゃがいもの無料試食
・大樹町より水産加工品の販売
・ヒップホップサークルによるダンス、ミニコンサートなど
・紅葉の足寄町内を歩こう!「ウオー・クラリオン大収穫祭」
あしよる銀河ホール21を発着点にしてネイバルあしよる、出合いの森、里見が丘公園キャンプ場、総合体育館を巡ります。
☎2516131



本のある暮らし 151

戸籍のまど

お誕生

8月後半から
9月前半の
届出分

- 原 詩織^{しお織} 裕輔^{ゆすけ} 博美^{ひろみ} 8/9 新 町
- 山下 瑚杏^{こあき} 竜也^{りゅうや} 千明^{ちあき} 8/15 勇足東4
- 高橋 香穂^{かほ} 亮^{あきら} 聡美^{そうみ} 8/26 山手町

ご結婚

- (川 端 真 人^{まこと} 北6丁目
- 角 田 いずみ^{いずみ} 帯 広 市

おくやみ

- 和田 正 夫^{まさお} 89歳 8/22 南4丁目
- 柘 津 陽 子^{ひょうこ} 80歳 8/27 栄 町
- 名 取 逸 郎^{いつろう} 85歳 8/31 北3丁目
- 本 寺 清 子^{しみず} 90歳 9/13 仙美里元町
- 嶋 崎 恒^{つね} 86歳 9/15 向陽町

わたしたちのまち

前月比
人 口 7,956人(-12)
男 3,907人(-11)
女 4,049人(-1)
世帯数 3,809戸(-3)
〔8月末日住民基本台帳〕

読書週間が始まります (10月27日~11月9日)

国語の教科書「ごんぎつね」でおなじみの児童文学者・^{にいみなんきち}新美南吉。親から子へ読みつがれる数々の名作を残しながら、29歳の若さで亡くなりました。

生誕100年を迎える今年、もう一度、南吉の心にしみいる物語にふれてみませんか。

図書館では、新美南吉コーナーで多くの作品を紹介し、読書週間のプレ・イベントとして朗読会を行います。

ぶっくる朗読会&レトロ・レコードを聴く会 「新美南吉 生誕100年の秋に…」

と き 10月19日(土)
午後1時30分から午後3時まで

と ころ 図書館視聴覚室

内 容 ・新美南吉の作品朗読
「ごんぎつね」「手ぶくろを買いに」ほか
・レトロ・レコード鑑賞(資料館所蔵)
・ぶっくるカフェ臨時営業

協 力 図書館ボランティアぶっくる、資料館友の会

- 新美南吉**
- 1913年(大正2)7月30日~1943年(昭和18)3月22日
 - 愛知県知多郡半田町(現在の半田市)出身
 - 東京外国語学校英語部文科卒業
 - 本名=新美正八
 - 代表作
「ごんぎつね」「手袋を買いに」「おじいさんのランプ」「赤いろうそく」「でんでんむしのかなしみ」他



お問い合わせ先
本別町図書館
(愛称:ぶっくる一丸)
本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112